

教育目標 自主的・自律的精神に溢れた心豊かな生徒の育成

平成30年度 No. 3 平成30年7月6日(金)	富士見中学校だより 希望かがやく (学校だよりのタイトルは校歌の歌詞からの言葉です。)	川越市立 富士見中学校 Tel 242 - 0931
---------------------------------	--	----------------------------------

平成30年 7月 3日
「チームはサポーターも！」 学校朝会から (抜粋) 校長 矢嶋 充夫

「胸をはって笑顔で帰りたいと思います。」

サッカーワールドカップのベスト8進出をかけた大一番で惜しくも負けた長友佑都選手のインタビューでの言葉です。

日本よりも、はるかに格上の対戦相手、ベルギーと戦った試合は、サッカーに詳しくない私でも、「素晴らしい」と思いました。「ベスト8進出」という目標に向かって、チームの一人一人が献身的に動いていた。そう思いました。なにより、4年後のワールドカップには出られないであろう選手の輝きに魅了されました。「サムライジャパン」という素晴らしいチームでした。

学校をピッチ(サッカー場)に例えるならば、当然、選手は、生徒の皆さんです。ノーチャイムの授業、無言清掃、あいさつ・礼など、「富士見魂」をもって活躍している選手です。素晴らしい選手たちです。

さて、この間、こんなお電話をいただきました。

その一

「部活動を見ていて、心配なことがあるので電話しました。私は、富士見中であつてお世話になっていたもので・・・」

その二

「下校時、富士見中の周辺では、良いが、少し離れると道に広がっている。」

その三

「4歳の子どもと富士見中の近くを通りかかったら、子どもが男子生徒にあいさつした。その男子生徒は『こんにちは』と返してくれ、『こういうのって、和むよね』とってくれた。とても気持ち良く、清々しいので電話しました。」

地域の方から電話をいただいています。ありがたいことです。ピッチの選手たちに向けた声援、応援として受け止め、富士見中に活かしていきたいと思えます。

遠くロシアの地であつて、ジャパンプルーを身にまとい、選手とともに目標を目指している力強い味方。「ゴミ拾い」を世界に広めたサポーター。

富士見中というチームには、保護者や地域の方のサポーターもおおり、力強い応援をいただいていることを忘れてはいけません。

※ あらためてお電話をいただき、感謝申し上げます。サポーターとして、子どもたちに御声援賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

多発する地震！

～備えは大丈夫ですか？～

大阪の地震災害、ブロック塀倒壊による痛ましい事故、さらに関東でも地震が多いです。

誰もが「そう遠くない時に・・・」と思っ

ているはずで

富士見中では次のように取り組みました。

- ① 生徒の皆さんが登下校時に危険箇所をみて、家庭で話題にすること。
- ② 家庭の集合場所を決めること。
- ③ 教職員による通学路点検
- ④ 校舎、周囲の点検
- ⑤ 大地震発生時の初期対応の生徒、保護者への共有化

地域の皆様には、生徒、保護者様に向けた文書を裏面に参考として掲載させていただきます。

校長のひとりごと

校長がかつて一緒に勤めさせていただいた理科教師のO(オウ)先生から電話がありました。「私も定年退職して、再任用も終わりました。何か出来ないかと考え、顕微鏡のメンテナンスを考えました。お礼も報酬もいりませんし、理科の先生の応対も必要ありません。理科の先生は忙しくて、ピント調整やレンズ掃除はやりたくても出来ないんです。」

本当に頭が下がります。お陰様で皆さんの実験観察に使う顕微鏡は格段に見やすくなっています。生徒はもとより、理科の先生も感謝感激です。そして、自分の生き方についても勉強になりました。心強いサポーターです。

平成30年7月 6日

川越市立富士見中学校
生徒のみなさん
保護者様

川越市立富士見中学校
校長 矢嶋 充夫

「大地震発生時の危険箇所及び避難場所等の確認について」に係る御礼と結果について

このことについて、平成30年6月25日付けでお願いをしたところ、大変多くの御協力をいただき、御家庭での話合い、集合場所等の確認をしていただきました。深く感謝申し上げますとともに、今後の安全対策を一層推進していただくようお願いいたします。

さて、依頼の中で「大地震発生時、『危ない』と感ずること」の主なものについて、下記のとおり御回答をいただきました。これらは、実際に危険であるということではありません。危険を感じる想定として、御一読いただき、「備え」となるようお願いいたします。

併せて、学校における基礎的対応についてもお示しさせていただきます。今後とも一層の「自助・共助・公助」の推進がなされるよう努力して参ります。

記

1 「大地震発生時、『危ない』と感ずること」

※実際に危険というわけではありません。あくまでも想定です。

※御回答をいただいた内の主なものです。

- ・建設中の陸橋や建築物から物が落ちたり、倒れたりするのではないかな。
- ・狭い通学路が怖いのではないかな。
- ・ガラスが割れたり、壁が壊れたり、倒れたりする。瓦も落下してくるのではないかな。
- ・線路上の橋や用水路上の橋、道路が壊れるのは怖いのではないかな。
- ・高架線や線路の電線等が切れ、感電の恐れがある。電柱も倒れるかもしれない。
- ・電車が不通となり、踏切が降りたままになり混乱する。電話も不通のではないかな。
- ・樹木が倒れてくるかもしれない。

2 富士見中の耐震について

富士見中学校は、平成22年度に耐震化工事を実施済みです。このことにより、概ね震度6強から7程度の地震でも、大きな補修をすることなく、建物を使用し、人命の安全確保、機能確保が図られています。

3 富士見中教職員の大地震の際の基礎的対応について

教職員は、大地震発生時は、別紙に示した項目を共通理解・共通行動事項として共通理解し、初期対応を進めます。生徒のみなさん、保護者の皆様も御一読いただき、御理解御協力をお願いいたします。